



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 日東紡 上場取引所 東
 コード番号 3110 URL <https://www.nittobo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 林 寿信
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役 (氏名) 梶川 浩希 (TEL) 03-4582-5040
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けオンライン会議)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	118,229	8.4	20,819	26.6	21,544	22.6	41,770	225.4
2025年3月期	109,035	16.9	16,445	96.1	17,568	80.1	12,837	76.0

(注) 包括利益 2026年3月期 48,548百万円(238.9%) 2025年3月期 14,327百万円(△14.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	1,147.34	—	27.5	8.5	17.6
2025年3月期	352.61	—	10.4	8.1	15.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	283,038	180,383	61.3	4,768.45
2025年3月期	223,105	135,829	58.1	3,563.47

(参考) 自己資本 2026年3月期 173,595百万円 2025年3月期 129,734百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	17,296	22,787	△7,199	61,835
2025年3月期	19,121	△11,418	△3,277	28,387

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	27.50	—	78.50	106.00	3,877	30.1	3.1
2026年3月期	—	27.50	—	99.50	127.00	4,645	11.1	3.0
2027年3月期(予想)	—	60.00	—	80.00	140.00		30.0	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,900	18.3	12,600	33.3	12,600	37.6	8,500	23.6	233.48
通期	137,000	15.9	26,000	24.9	26,000	20.7	17,000	△59.3	466.97

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2026年3月期	37,723,012株	2025年3月期	37,723,012株
2026年3月期	1,317,892株	2025年3月期	1,316,229株
2026年3月期	36,406,133株	2025年3月期	36,407,684株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	69,021	6.8	11,064	48.6	14,159	32.6	37,290	277.7
2025年3月期	64,640	28.6	7,445	319.7	10,677	95.5	9,874	102.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	1,024.29		—					
2025年3月期	271.21		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	198,776	126,711	63.7	3,480.60
2025年3月期	155,051	89,420	57.7	2,456.14

(参考) 自己資本 2026年3月期 126,711百万円 2025年3月期 89,420百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]4ページ記載の「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の関税政策の影響による不透明感や中国の景気減速、中東情勢の緊迫化などにより、引き続き不安定な状態が継続しました。わが国経済は、企業収益や設備投資は堅調に推移したものの、インフレ加速懸念など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような環境の下、当社グループは長期ビジョン『Big VISION 2030』の実現に向けて中期経営計画(2024-2027年度)に取り組んでいます。持続可能な社会実現に向け、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチNo.1を創造し続ける企業グループを目指しています。

2026年3月期は、電子材料事業を中心に高付加価値品の販売が好調に推移しました。この結果、連結売上高は118,229百万円(前年同期比8.4%の増収)、連結営業利益は20,819百万円(前年同期比26.6%の増益)、連結経常利益は21,544百万円(前年同期比22.6%の増益)、親会社株主に帰属する当期純利益は41,770百万円(前年同期比225.4%の増益)になりました。

各事業における状況及び取組みは次のとおりです。

電子材料事業では、AIサーバー向けの旺盛な需要が継続し、低誘電特性を持つスペシャルガラスや、半導体パッケージ基板向けの低熱膨張特性を持つスペシャルガラスの販売が好調に推移したことなどが、収益に貢献しました。この結果、当事業は売上高49,265百万円(前年同期比20.4%の増収)、営業利益は19,391百万円(前年同期比39.7%の増益)となりました。

メディカル事業では、中国の国産品の優遇が進展している影響はありますが、体外診断用医薬品等の販売は堅調に推移しました。また、基盤強化も継続して実施しました。この結果、当事業は売上高13,850百万円(前年同期比1.8%の増収)、営業利益は2,431百万円(前年同期比2.1%の増益)となりました。

複合材事業では、販売は前年並みとなりました。また、前年には生産設備の定期修繕に伴うコストアップの影響がありました。この結果、当事業は売上高13,401百万円(前年同期比0.5%の減収)、営業損失は122百万円(前連結会計年度は営業損失900百万円)と改善しました。

資材・ケミカル事業では、販売は値上げの寄与もあり前年を上回ったものの、原材料を中心とするコストアップなどの影響を受けました。この結果、当事業は売上高9,515百万円(前年同期比0.9%の増収)、営業利益は588百万円(前年同期比29.9%の減益)となりました。

断熱材事業では、住宅向けの販売が引き続き低調に推移し、加えて生産設備の定期修繕に伴うコストアップの影響を受けました。この結果、当事業は売上高15,136百万円(前年同期比1.2%の減収)、営業利益は202百万円(前年同期比70.8%の減益)となりました。

その他事業は売上高17,059百万円(前年同期比4.7%の増収)、営業利益は488百万円(前年同期比19.3%の増益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は283,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ59,932百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加などです。

負債は102,654百万円となり、前連結会計年度末に比べ15,378百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等の増加などです。

純資産は180,383百万円となり、自己資本比率は61.3%と、前連結会計年度末に比べ3.2ポイント増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益58,629百万円などにより17,296百万円の資金が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の売却による収入39,053百万円などにより22,787百万円の資金が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払による支出3,877百万円などにより7,199百万円の資金が減少しました。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は61,835百万円となり、前連結会計年度末に比べ33,448百万円増加しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	56.5	55.9	55.7	58.1	61.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	58.4	39.5	102.5	67.9	241.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	6.6	6.0	10.5	2.8	2.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	30.7	30.8	12.4	35.8	21.7

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式を除く）により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の当社を取り巻く環境は、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格や物流コストへの影響、資材調達へのリスクに加え、金融市場の混乱に伴う為替の急激な変動リスク、中国の景気低迷など、先行きが不透明な状況にあります。

このような環境の下においても、当社は2030年にありたい姿『Big VISION 2030』の実現に向けた中期経営計画(2024-2027年度)に基づき、確実な投資の刈り取りと同時に、成長戦略の推進、次の100年に向けた新たな柱づくりを着実に実施してまいります。

2027年3月期は、電子材料向けスペシャルガラスにおいて、データセンターのサーバーやネットワーク機器、半導体パッケージ基板などでの旺盛な需要が見込まれ、これに対応する能力増強を積極的に推進してまいります。

このような状況の下、次期の業績予想を以下の通りといたしました。

	2026年3月期	2027年3月期(予想)
売上高(百万円)	118,229	137,000
営業利益(百万円)	20,819	26,000
売上高営業利益率(%)	17.6	19.0
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	41,770	17,000
EBITDA(百万円)*	30,120	37,600
売上高EBITDA比率(%)	25.5	27.4
設備投資(百万円)	21,702	45,000
減価償却費(百万円)	9,301	11,600
研究開発費(百万円)	3,400	4,600
売上高研究開発比率(%)	2.9	3.4
為替レート[円/米ドル]	150.2	152.5

* EBITDA: 営業利益+減価償却費

各指標はいずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務健全性を確保しながら持続的な成長のための投資を行うとともに、株主の皆様に対する配当政策を経営の最重要事項の1つとして位置づけており、中期経営計画(2024-2027年度)においては、1株当たりの配当金は55円を下限に、定常収益に対する連結配当性向30%を基本方針としております。

当期業績は前述のとおりでありますので、上記方針に基づき、当期の期末配当金につきましては1株当たりの普通配当99円50銭とし、2026年6月19日開催予定の定時株主総会に付議します。

次期の配当につきましては、上記方針の下、1株につき140円00銭(うち、中間配当金60円00銭)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準で連結財務諸表を作成しており、当面同基準での作成を継続する方針であります。

なお、I F R S (国際財務報告基準)の適用につきましては、今後の国内外の諸情勢を考慮し、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,546	62,014
受取手形	6,240	5,787
売掛金	26,502	30,180
商品及び製品	13,212	16,011
仕掛品	7,751	8,671
原材料及び貯蔵品	30,050	34,394
その他	2,964	2,668
貸倒引当金	△11	△17
流動資産合計	115,256	159,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,963	22,380
機械装置及び運搬具（純額）	30,855	38,099
土地	15,997	12,341
リース資産（純額）	466	530
建設仮勘定	7,279	12,067
その他（純額）	1,835	2,138
有形固定資産合計	77,398	87,558
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	21,020	26,046
退職給付に係る資産	3,975	5,621
繰延税金資産	1,123	874
その他	1,281	1,350
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	27,381	33,872
固定資産合計	107,849	123,327
資産合計	223,105	283,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,242	8,015
短期借入金	9,922	4,393
1年内返済予定の長期借入金	7,904	7,814
リース債務	295	335
未払法人税等	3,259	13,117
賞与引当金	2,331	3,665
その他	9,185	10,655
流動負債合計	40,142	47,997
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	23,743	27,204
リース債務	882	938
繰延税金負債	1,019	4,685
修繕引当金	4,802	5,340
役員株式給付引当金	119	178
退職給付に係る負債	4,978	4,543
その他	1,588	1,765
固定負債合計	47,134	54,656
負債合計	87,276	102,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,373	19,373
利益剰余金	78,567	116,460
自己株式	△3,028	△3,047
株主資本合計	114,612	152,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,797	10,918
為替換算調整勘定	7,633	8,537
退職給付に係る調整累計額	690	1,654
その他の包括利益累計額合計	15,122	21,109
非支配株主持分	6,095	6,787
純資産合計	135,829	180,383
負債純資産合計	223,105	283,038

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	109,035	118,229
売上原価	68,657	70,652
売上総利益	40,378	47,576
販売費及び一般管理費	23,933	26,757
営業利益	16,445	20,819
営業外収益		
受取利息	42	128
受取配当金	628	689
受取賃貸料	620	407
為替差益	231	397
資産売却益	262	—
その他	343	225
営業外収益合計	2,129	1,849
営業外費用		
支払利息	559	798
休止賃貸不動産関連費用	232	156
その他	214	169
営業外費用合計	1,006	1,124
経常利益	17,568	21,544
特別利益		
固定資産売却益	128	34,165
投資有価証券売却益	1,578	3,832
事業譲渡益	—	107
その他	168	43
特別利益合計	1,875	38,149
特別損失		
固定資産処分損	742	480
減損損失	1,074	318
災害による損失	—	199
その他	104	65
特別損失合計	1,922	1,063
税金等調整前当期純利益	17,521	58,629
法人税、住民税及び事業税	4,342	14,726
法人税等調整額	13	1,573
法人税等合計	4,355	16,300
当期純利益	13,165	42,329
非支配株主に帰属する当期純利益	328	559
親会社株主に帰属する当期純利益	12,837	41,770

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	13,165	42,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,244	4,120
為替換算調整勘定	2,544	1,136
退職給付に係る調整額	△138	962
その他の包括利益合計	1,161	6,219
包括利益	14,327	48,548
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,748	47,758
非支配株主に係る包括利益	579	790

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,699	19,373	67,925	△3,018	103,979
当期変動額					
剰余金の配当			△2,194		△2,194
親会社株主に帰属する 当期純利益			12,837		12,837
自己株式の取得				△10	△10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	10,642	△10	10,632
当期末残高	19,699	19,373	78,567	△3,028	114,612

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	8,041	5,333	836	14,211	5,516	123,707
当期変動額						
剰余金の配当						△2,194
親会社株主に帰属する 当期純利益						12,837
自己株式の取得						△10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,244	2,300	△145	910	579	1,489
当期変動額合計	△1,244	2,300	△145	910	579	12,122
当期末残高	6,797	7,633	690	15,122	6,095	135,829

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,699	19,373	78,567	△3,028	114,612
当期変動額					
剰余金の配当			△3,877		△3,877
親会社株主に帰属する 当期純利益			41,770		41,770
自己株式の取得				△18	△18
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	37,892	△18	37,873
当期末残高	19,699	19,373	116,460	△3,047	152,485

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,797	7,633	690	15,122	6,095	135,829
当期変動額						
剰余金の配当						△3,877
親会社株主に帰属する 当期純利益						41,770
自己株式の取得						△18
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,120	903	963	5,987	692	6,680
当期変動額合計	4,120	903	963	5,987	692	44,554
当期末残高	10,918	8,537	1,654	21,109	6,787	180,383

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	17,521	58,629
減価償却費	7,941	9,301
減損損失	1,074	318
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△575	674
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△951	538
受取利息及び受取配当金	△671	△818
支払利息	559	798
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△1,578	△3,769
固定資産除売却損益 (△は益)	614	△33,685
売上債権の増減額 (△は増加)	△42	△3,098
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,654	△7,886
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,462	629
その他	1,095	952
小計	21,872	22,584
利息及び配当金の受取額	671	818
利息の支払額	△533	△797
補助金の受取額	78	—
法人税等の支払額	△2,966	△5,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,121	17,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△13,138	△20,518
固定資産の売却による収入	146	39,053
投資有価証券の売却による収入	1,989	4,790
その他	△415	△538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,418	22,787
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,067	△5,641
長期借入れによる収入	15,351	10,649
長期借入金の返済による支出	△13,026	△7,904
社債の発行による収入	5,000	—
社債の償還による支出	△5,000	—
配当金の支払額	△2,194	△3,877
その他	△340	△425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,277	△7,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	445	563
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,869	33,448
現金及び現金同等物の期首残高	23,517	28,387
現金及び現金同等物の期末残高	28,387	61,835

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、電子材料事業、メディカル事業、複合材事業、資材・ケミカル事業、断熱材事業及びその他事業の6つの事業を基本にして事業を営んでおり、各事業で国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは「電子材料事業」、「メディカル事業」、「複合材事業」、「資材・ケミカル事業」、「断熱材事業」及び「その他事業」の6つを報告セグメントとしております。

「電子材料事業」は、電子材料用途グラスファイバー製品の開発、製造及び販売を行っております。「メディカル事業」は、体外診断用医薬品等の開発、製造及び販売を行っております。「複合材事業」は、プラスチック強化材料用途グラスファイバー製品の開発、製造及び販売を行っております。「資材・ケミカル事業」は、産業資材用途グラスファイバー製品の開発、製造及び販売、ケミカル製品の開発、製造及び販売、芯地製品、機能資材、ふきんの開発、製造及び販売を行っております。「断熱材事業」は、断熱・保温・吸音用途グラスウール製品の開発、製造及び販売を行っております。「その他事業」は、産業機械設備等の設計、製作、販売、施工メンテナンス及びサービス事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	電子材料 事業	メディカル 事業	複合材 事業	資材・ ケミカル 事業	断熱材 事業	その他 事業	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	40,911	13,491	13,474	9,431	15,320	16,294	108,923	—	108,923
その他の収益	—	112	—	—	—	—	112	—	112
外部顧客への 売上高	40,911	13,603	13,474	9,431	15,320	16,294	109,035	—	109,035
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,182	15	1,045	2,537	32	3,291	18,105	△18,105	—
計	52,093	13,619	14,520	11,968	15,352	19,586	127,141	△18,105	109,035
セグメント利益 又は損失 (△)	13,880	2,381	△900	839	693	409	17,303	△858	16,445
セグメント資産	102,912	22,855	18,568	11,118	12,934	9,888	178,278	44,827	223,105
その他の項目									
減価償却費	5,849	642	180	281	639	42	7,635	305	7,941
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	10,072	803	1,430	366	708	41	13,422	195	13,617

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△858百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。
 - (2) セグメント資産の調整額44,827百万円は、各報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び管理部門に係る全社資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額195百万円は、全社の設備投資等であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	電子材料 事業	メディカル 事業	複合材 事業	資材・ ケミカル 事業	断熱材 事業	その他 事業	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	49,265	13,715	13,401	9,515	15,136	17,059	118,093	—	118,093
その他の収益	—	135	—	—	—	—	135	—	135
外部顧客への 売上高	49,265	13,850	13,401	9,515	15,136	17,059	118,229	—	118,229
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,152	84	1,056	2,210	29	5,068	20,602	△20,602	—
計	61,418	13,935	14,457	11,726	15,165	22,128	138,831	△20,602	118,229
セグメント利益 又は損失 (△)	19,391	2,431	△122	588	202	488	22,979	△2,160	20,819
セグメント資産	129,381	24,015	20,174	10,791	13,312	10,543	208,218	74,819	283,038
その他の項目									
減価償却費	7,229	751	136	261	614	47	9,041	259	9,301
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	18,691	923	350	437	1,266	53	21,722	△20	21,702

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△2,160百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。
 - (2) セグメント資産の調整額74,819百万円は、各報告セグメントに帰属しない余資運用資金及び管理部門に係る全社資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△20百万円は、全社の設備投資等であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア		北米	欧州	その他	合計
	台湾	その他				
61,913	14,662	19,884	5,661	6,480	432	109,035

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア			北米	欧州	その他	合計
	台湾	韓国	その他				
65,023	17,558	14,157	8,714	5,077	7,256	442	118,229

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,563円47銭	4,768円45銭
1株当たり当期純利益	352円61銭	1,147円34銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されている、株式給付信託に係る信託口が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております。

1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前連結会計年度174千株、当連結会計年度174千株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は、前連結会計年度174千株、当連結会計年度174千株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	12,837	41,770
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	12,837	41,770
普通株式の期中平均株式数 (千株)	36,407	36,406

(重要な後発事象)

該当事項はありません。